

「住み継ぐまちづくり」基盤整備事業（NPO法人 くらすむ滋賀）

課題	これまでの美しい街並みづくりを目指した活動の中で、空き家化の防止や空き家となった際も街並み景観が維持される仕組みづくりの必要性を実感し、美しい家屋が住み継がれ後世に紡いでいくため、所有者の語りから暮らしや家屋への想い、建築様式に込められた暮らしの経過に寄り添い、総合的に家屋を継承する仕組みを創出することを目指す。
目的	令和元年度国土交通省「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」を通じて、NPO法人として中心的に扱う「住まいの記憶史」調査を実施し、調査を通じて家屋所有者の意識の変化を確認できたほか、空き家（家屋）を軸とした「住み継ぐまちづくり」の可能性を見出すことができた。こうした取組をもとに、NPO法人による空き家対策に向けた基盤づくりを進めていきます。
取組内容	①住まいの記憶史を通じたマッチング支援の推進 ②住み継ぐネットワークの拡充 ③市街化調整区域における空き家利活用連携事業の検討 ④NPO活動の周知
成果	①（仮称）「住まい手の横顔」の製作（利活用希望者の個性・特徴等の見える化による空き家バンクへの登録促進） ②「こあき屋」（終活）との連携・ネットワークづくり ③市街化調整区域における空き家利活用方策の検討 ④NPO法人のウェブページ・ロゴ製作、PR活動等

